

英語科 学習指導案

指導教諭:

実習生:

1. 日時: 2024年6月13日(木) 3限
2. 学年: 第3学年3組(男子3名、女子9名、計12名) 【少人数クラス】
3. 場所: 西館2階 コンピューター室
4. 単元名: Unit 4 "AI Technology and Language"
5. 教材名: 『Here We Go! ENGLISH COURSE 3』
6. 指導にあたって

(1) 生徒観

本学級の生徒は、授業に前向きであり、教師の説明を聞く、板書を写す、ペアワークをするといった活動は集中できており、意欲的な姿勢が見られる。しかし、英語の授業における学級全体の雰囲気としては大人しく、全体指導の際に自発的に発言したり、意見を述べたりする生徒は少ない。生徒が集中力を切らすことなく、授業に参加できるよう場の設定を工夫するなどして、生徒の英語力の向上に努めていきたい。

(2) 教材観

本単元は AI 技術の進化について取り上げられている。AI 技術がどのような機器に活用されているか、様々な機器が挙げられる中、登場人物たちは AI 技術による携帯翻訳機に焦点を置き、意見を出し合っている。携帯翻訳機の活用により、外国人とのコミュニケーションがより円滑になるという利点や、AI 機器の利用によって問われる外国語の学習やコミュニケーションの意義などが本文中で議論されている。携帯翻訳機を活用するにあたり、「今後英語を学ぶ必要はあるのか」という視点でそれぞれが考え、自分たちの意見を出し合った後、担当の英語科教員が「あなたはどう思う?」と、生徒や英語学習者に投げかける場面で終わっている。これに対し、1人1台のタブレット端末が整備された環境で学ぶ、現代の中学生にとって電子機器や AI 技術といった話題は身近な題材であることも踏まえ、自らの考えを整理し相手に伝えるための能力を身につけてほしいと考える。また、言語材料として関係代名詞 which, who, that(主格的用法)が取り上げられている。ものや人を詳しく説明するための表現であり、英語特有の後ろに情報を付け足していく感覚が育ち、生徒が普段使用する英語表現に幅を持たせることが期待される。実際にどのような場面で使うことができるかという点をより重視しながら、単元のゴール「書く」活動において活用できるようにしていきたい。

(3) 指導観

新出の言語材料(関係代名詞 which, who, that)だけでなく、既習の言語材料(現在完了、動名詞、最上級など)を復習し、自分の感想や意見を相手に伝える活動で使えるようにする。またこれらの文法を使用する目的や場面、状況を設定した言語活動を通して生徒のコミュニケーション能力を高めたい。そして単元を通して、教師が生徒同士の活動を観察し、生徒の発言や授業に積極的に取り組む姿勢に肯定的なフィードバックを行い、生徒が自信をもって英語でやり取りできるように指導したい。

7. 単元の目標

- ・ 関係代名詞の主格 which, who, that の意味を理解し、正しく使うことができる。 【知識・技能】
- ・ 投稿文から、それぞれの意見の要点を読み取ることができる。 【知識・技能】
- ・ 登場人物それぞれの投稿文に触れ、それらを整理し自分の感想や意見を伝えることができる。 【思考力・判断力・表現力】
- ・ AI 技術への理解を深め、効果的な活用方法について考え、これからの自己の学習に活かそうとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】

8. 指導と評価の計画

時	ページ	学習活動	評価の観点	評価規準(方法)
1 本 時	章扉 Part1①	◆本文への理解を深める。 ○Unit4の導入 ○関係代名詞 which の導入 ○新出語句の導入 ○本文の意味確認	【知・技】	関係代名詞の知識を利用しながら、本文の内容を理解している。(観察・ワークシート)
2	Part1②	◆本課の言語材料を理解することができる。 ○関係代名詞 which (主語) ○言語材料を用いた練習	【知・技】	関係代名詞 which (主語)の意味、用法を理解している。(観察・ワークシート)
3	Part2①	◆本文への理解を深める。 ○言語材料の復習 ○関係代名詞 who (主語)の導入	【知・技】	関係代名詞の知識を利用しながら、本文の内容を理解した

		○新出語句の導入 ○本文の意味確認		り、言語活動に取り組んだりしている。 (観察)
4	Part2②	◆本課の言語材料を理解することができる。 ○関係代名詞 who (主語) ○言語材料を用いた練習	【知・技】	関係代名詞 who (主語) の導入の形と意味、用法を理解している。(観察・ワークシート)
	Part3①	◆本文への理解を深める。 ○関係代名詞 that (主語) の導入 ○新出語句の導入 ○本文の意味確認	【知・技】	関係代名詞の知識を利用しながら、本文の内容を理解したり、言語活動に取り組んだりしている。(観察)
5	Part3②	◆本課の言語材料を理解することができる。 ○関係代名詞 that ○言語材料を用いた練習問題	【知・技】	関係代名詞 that (主語) の導入の形と意味、用法を理解している。(観察・ワークシート)
6	Goal①	◆投稿文を読んで自分の意見を書くことができる。	【思・判・表】	複数の人の意見を聞きそれを整理して、自分の意見を書く。 (観察・ワークシート)
	Goal②	◆ロボットに関する意見文を読み、自分の意見を伝えることができる。	【思・判・表】 【主体的に学習に取り組む態度】	相手の意見を聞き、自分の意見を伝える。(観察・ワークシート)

9. 本時の目標：本文の内容を理解できるようになる。

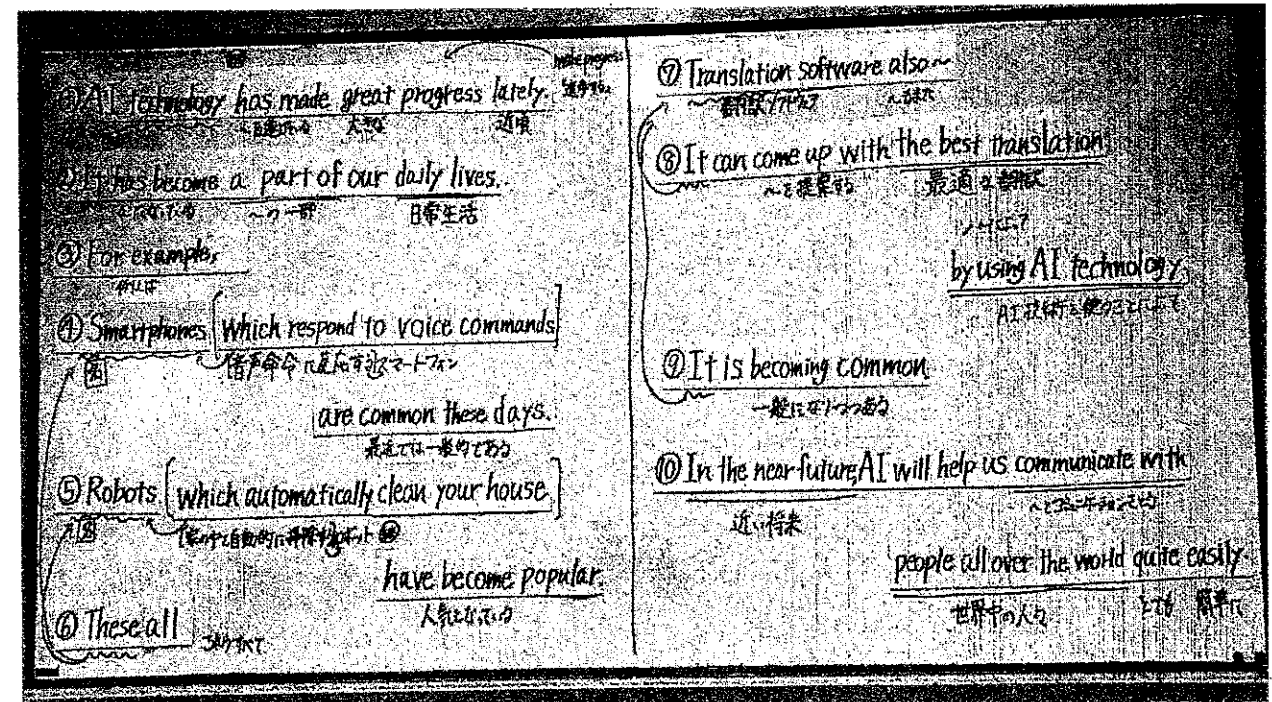
10. 本時の展開

	教授活動	学習活動	指導上の留意点(・) 評価基準(○)
導入 15分	1. 挨拶 ・ Good morning.  2. 日にち、曜日、天気、今日の流れ ・ What day is it today? ・ What's the date today? ・ How's the weather now?  3. 本文音声を流す。 What AI device is she talking about?	1. 挨拶を返す。  2. 日にち、曜日、天気を英語で表現する。  3. 音声を聞く。	・ 音声 2 回流す。(1 回目で聞き取れた場合は 1 回で終わる。) ・ 1 回目の音声を流す前に、シンプルな構文で分かりやすい質問をする。 ・ 英語で質問した後に、日本語で繰り返す。(彼女は何の AI 機器について話していますか。)  ・ AI 機器の名前を出すのが難しいようであれば、質問の内容を変え、聞き取れた数を聞く。  ・ 2 回目の音声を聞くときは教科書を見ながら聞く。
		聞き取れたものを発表する。  2 回目の音声を聞く。	

	4. 他に知っている AI 機器はないか質問する。 What kind of AI device do you know?	4. AI機器を発表する。	・英語で聞いた後、日本語で繰り返す。 (他に知っている AI 機器はありますか。)
	5. ペアワーク Have you ever used ~?	5. 使ったことがあるものについてペアで聞き合う。	・現在完了形を使うことで、前の単元の言語材料の復習を兼ねる。 ・答え方の例を出しておく。 ・机間巡視を行い、コミュニケーションを取っているか確認する。
展 開 30 分	6. 言語材料の導入	6. 新しい言語材料 which について学ぶ。	・本文を取り上げて説明する。
	7. 新出語句の確認	7. 新出語句の綴りと発音、意味を知り、繰り返し練習する。  ワークシートに新出語句を埋める。  もう一度発音する。	・章扉と part1 の本文の新出語句を指導する。 ・日→英×1 ・音声を使い行う。  ・ワークシートに新出語句の穴埋めをする際に、アクセントをつける。
	8. 本文理解	8. 教科書の音声聞き、穴埋めを行う。  解説を聞き、内容理解を深める。	・音声は2回繰り返し、聞き取れるようにする。(時間がない場合は1回)  ・生徒と共に日本語訳をすることで、内容への理解を深められるようにする。
	9. 本文音読	9. 本文を音読する。	・音声で音読練習後、ペアで音読をする間、机間巡視を行う。

ま と め 5 分	10. 振り返り	10. 今回学習した内容について振り返り、ワークシートに記入する。	・机間巡視を行い、生徒の理解状況を確認する。 ○関係代名詞の知識を利用しながら、本文の意味を理解している。(観察・ワークシート)
-----------------------	----------	-----------------------------------	---

11. 板書計画



12. ご高評価欄

Work Sheet

Class 3—( ) No.( )

Name \_\_\_\_\_

Unit4 Part I (P.51)

○文法 関係代名詞【主語】which

Smartphones (which respond to voice commands)

are common these days.

音声命令に应答するスマートフォンは最近では一般的である。

関係代名詞とは  
名詞を詳しく説明する  
働きを持つ

このように、関係代名詞【主語】を入れることで、smartphones(名詞)を詳しく説明する働きが出来ます。これを関係代名詞【主語】whichを使います。

○New Words

- 名 人工知能 (artificial intelligence) \_\_\_\_\_
- 名 科学技術 \_\_\_\_\_
- 形 毎日の、日々の \_\_\_\_\_
- 名 ロボット \_\_\_\_\_
- 名 ドローン (無線操縦の無人機) \_\_\_\_\_
- 名 スマートフォン \_\_\_\_\_
- 名 進歩 発達 \_\_\_\_\_
- 名 生活 (命、人生) \_\_\_\_\_
- 名 (情報) 検索、サーチ \_\_\_\_\_
- 名 エンジン \_\_\_\_\_
- 名 検索エンジン \_\_\_\_\_
- 動 应答する、反応する \_\_\_\_\_
- 名 命令、指令 \_\_\_\_\_
- 形 よく見られる、ありふれた \_\_\_\_\_
- 副 自動的に \_\_\_\_\_
- 名 翻訳 \_\_\_\_\_
- 名 ソフトウェア \_\_\_\_\_
- 副 非常に、とても \_\_\_\_\_

・～に应答する、反応する \_\_\_\_\_

・～を思いつく 見つける \_\_\_\_\_

○Part I 本文

- ①AI technology ( ) great progress( ).
- ②It ( ) a part of our daily lives.
- ③( ), the Internet search engines use AI technology.
- ④Smartphones ( ) voice commands  
( ) are common these days.
- ⑤Robots ( ) automatically clean your house  
( ) popular.
- ⑥These all use AI technology.
- ⑦Translation software also uses AI technology.
- ⑧It can ( ) the best translation by using AI technology.
- ⑨It is becoming common.
- ⑩In the near future, AI will help us communicate with  
( ) people ( ) quite easily.

○Review

3...よくできた 2...できた 1...次頑張る どれか1つに○をしよう!

☆自己評価

- ・文法わかった【3・2・1】
- ・音読頑張った【3・2・1】

- ・本文内容バッチリ【3・2・1】
- ・リスニングできた【3・2・1】

☆授業の感想/質問